

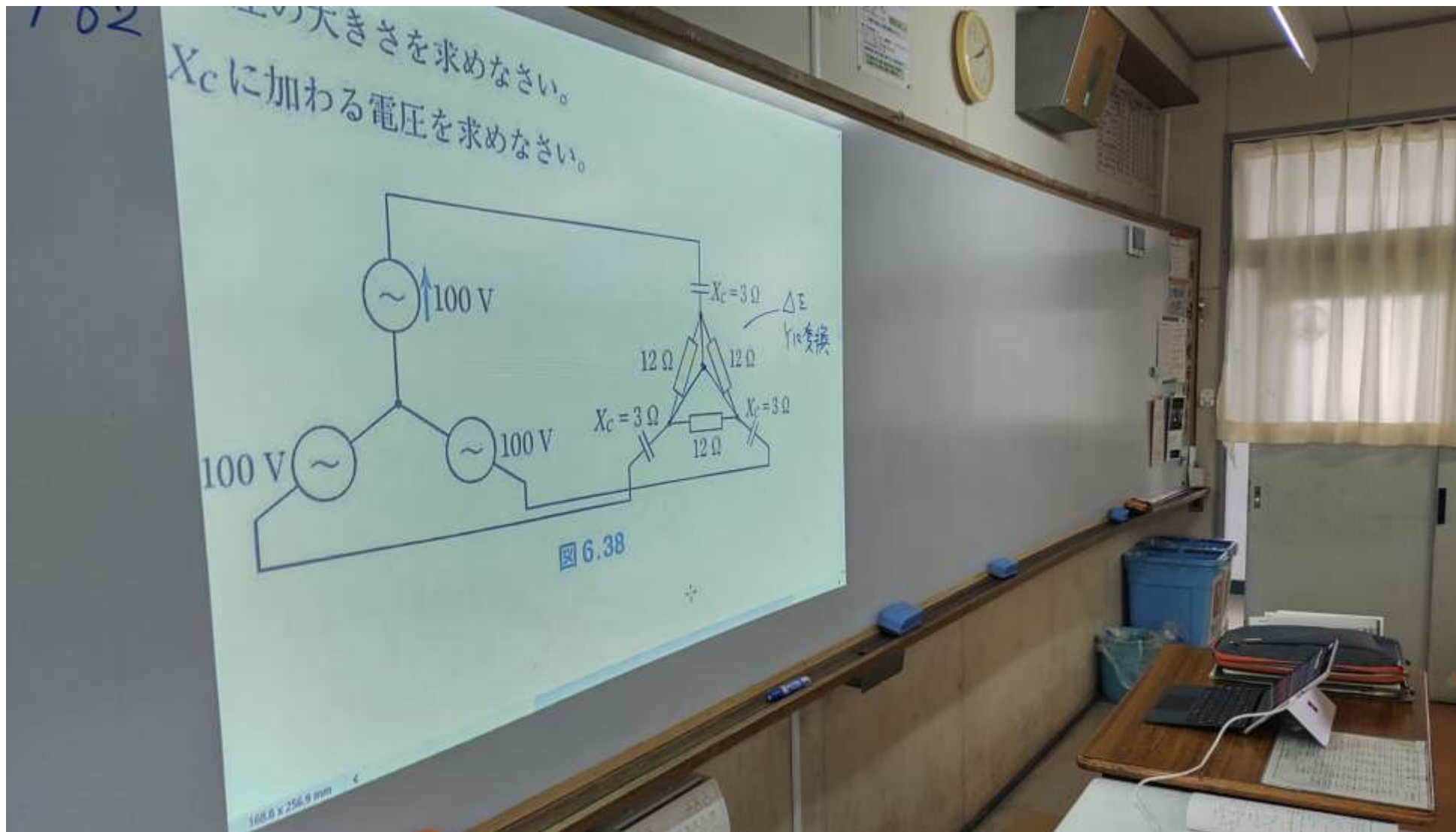
**「主体的・対話的で深い学び」
の実現に向けた
「授業展開の工夫点やその成果等」及び
評価における課題点の考察**

I C T 活用授業事例

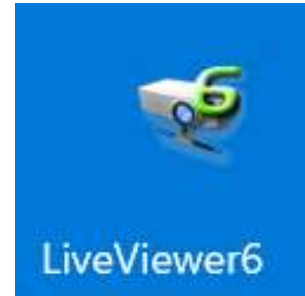
授業展開の工夫点・成果

評価における課題点の考察

I C T 活用授業事例

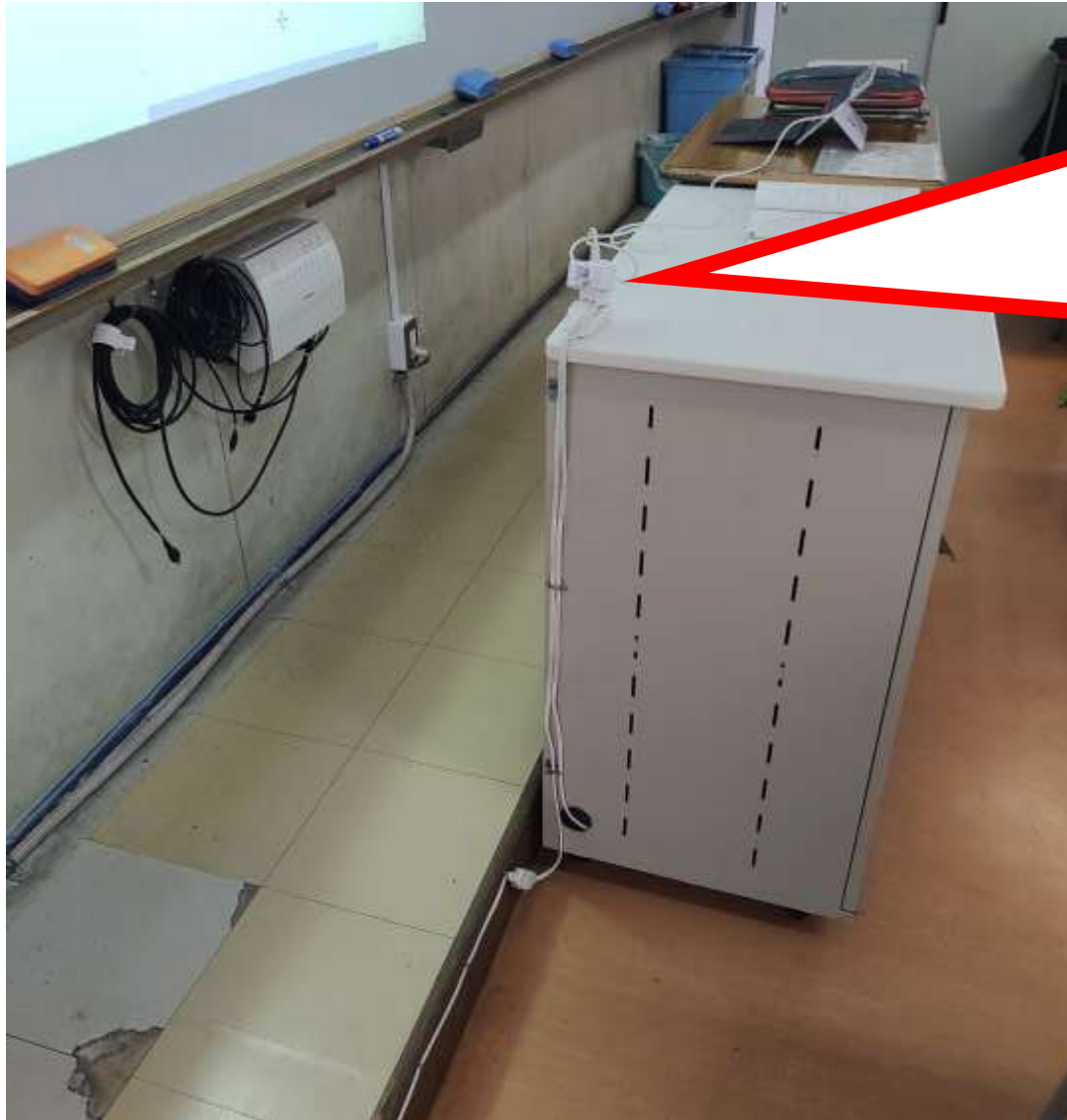


I C T 活用授業事例



LiveViewer を利用し、
無線でプロジェクタに接続

I C T 活用授業事例



充電用コンセントを
教卓のそばに設置

I C T 活用授業事例

授業展開の工夫点・成果

評価における課題点の考察

授業展開の工夫点・成果

パーキンソンの法則 (締め切り効果) の活用

第1法則

仕事の量は、完成のために与えられた時間をすべて満たすまで膨張する

第2法則

支出の額は、収入の額に達するまで膨張する

授業展開の工夫点・成果

1. 問題を細かく区切る
2. 常に時間を計る
3. 問題に取り組んだ後に、
「教え合い・相談」の時間を取る

授業展開の工夫点・成果

1. 問題を細かく区切る

問 23 R - L 直列回路において、 $R=10\ \Omega$ 、 $X_L=15\ \Omega$ 、 $V=100\ \text{V}$ を加えたとき、回路のインピーダンス Z [Ω]、電流 I [A]、各部の電圧 V_R 、 V_L [V] および位相差 ϕ を求めなさい。

1. 図を描き、値を記入する
2. インピーダンス Z [Ω] を求める
3. 電流 I [A] を求める
4. 電圧 V_R [V] を求める
5. 電圧 V_L [V] を求める
6. 位相差 ϕ を求める

授業展開の工夫点・成果

2. 常に時間を計る



SUZUKI

スクールタイマー4
(STEX-04)

授業展開の工夫点・成果

2. 常に時間を計る

190



82



授業展開の工夫点・成果

3. 問題に取り組んだ後に、「教え合い・相談」の時間を取る



授業展開の工夫点・成果

4月のアンケート結果（1年次の状況を5段階評価で調査）

- ・電気基礎の内容を理解できる

3. 0 3

- ・クラスメイトに教えてもらおう（逆に教えた）
ことで理解が進んだことがある

3. 3 6

授業展開の工夫点・成果

1 2月のアンケート（2年生の状況を結果5段階評価で調査）

- ・電気基礎の内容を理解できる

3. 03 → 3. 58

- ・クラスメイトに教えてもらおう（逆に教えた）
ことで理解が進んだことがある

3. 36 → 4. 18

授業展開の工夫点・成果

1 2月のアンケート結果（2年生の状況を結果5段階評価で調査）

- ・ 短い時間で区切った方が問題に取り組みやすい

3. 74

- ・ 1年生の頃よりわからないところが聞きやすい

3. 97

I C T 活用授業事例

授業展開の工夫点・成果

評価における課題点の考察

評価における課題点の考察

取り組み例

ルーブリック評価を普段の授業で実施

メリット

- ・生徒自身が評価の到達度を自己判断することができる。
- ・ペーパーテスト以外による、生徒を多様な観点から評価する材料になる。

デメリット

- ・ルーブリック自体の作成に時間と労力がかかる。
- ・生徒の自己評価を、どこまで評定に反映させるのか難しい。